

# 消防年報

平成25年版

第58号



シンボルマーク 「ファイ太くん」

瀬戸市消防本部

## は　じ　め　に

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、地震、津波さらには原子力災害を伴う未曾有の大災害となりました。消防には、地域の安全安心を守ることに加え、これら大規模、広域災害や特殊災害に対する地域を越えた防災協力体制の確立が求められています。

この年報は、平成25年4月1日現在における消防体制及び平成24年中の災害状況等を収録し、今後の消防行政の効率的な運営と消防力の強化に資するとともに、消防事情を一般に紹介することを目的に編集したものです。

本市はこれからも、消防力及び消防体制の充実に努め、火災などの災害を未然に防止し、安全安心なまちづくりを推進することに全力を挙げて取り組んでまいります。

消防関係者はもとより、この年報を広く活用いただければ幸いに存じます。

平成25年10月

瀬戸市消防本部





# 一 目 統 計

平成25年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象 (H24年中)
				
	111.61k m <sup>2</sup>	132,130 人	53,220 世帯	年平均気温 15.0℃ 年平均湿度 76.0% 年間降水量 1,325 mm

消 防 予 算 構 成 人 員	消防予算	署所数	職員数	団員数
				
	11億8,702万円 市民一人当たり 8,983円	消防本部 1 消防署 1 分署 2	126人 (内女性2人)	253人 (内女性15人)

消 防 車 両 水 利	ポンプ車等	特殊車両等	救急車	水利
				
	タンク車3台 ポンプ車4台	はしご車等8台	高規格救急車4台	消火栓 2,983基 防火水槽等 517基 (その他の水利を含む)

災 害 件 数 (H24年中)	火災	主な火災原因	救急	救助
				
	59件 出火率4.5件/万人	放火・放火の疑い19件 火あそび5件 たばこ、焼却炉、電気 装置が各3件	出動件数5,192件 搬送人員4,760人	出動件数71件 救助人員44人

予 防 消 防 関 係 団 体	防火対象物数	危険物施設数	消防同意数	消防関係団体
				幼年消防クラブ 26クラブ 少年消防クラブ 29クラブ 婦人防火クラブ 11クラブ 自衛消防連絡協議会 16事業所 危険物安全協会 372事業所
	4,879件	製造所 1件 貯蔵所 240件 取扱所 119件	68件	

## 平成24年度目標達成指標

指標	単位	基準値	目標値	実績値
出火率	件	5.2	4.4	4.5

※ 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいう。 (P 2 5 参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
救命率	%	20	22	56

※ 救命率とは、目撃のある突然心肺停止及びAEDの使用対象の救急患者のうち、1か月後に社会復帰できた割合をいう。 (P 4 1 参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
消防団員数	人	228	258	253

(P 7 参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
消防水利の充足率	%	98	98.3	98.4

(P 1 6 参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
火災による損害額	千円	120,601	111,200	82,769

(P 2 5 参照)

# 平成24年度トピックス

## 1 瀬戸・尾張旭消防指令センターの運用開始

瀬戸市と尾張旭市は、消防通信指令業務の共同運用に伴い「瀬戸・尾張旭消防指令センター」を開設し、平成24年12月1日から運用を開始しました。GPS機能を活用した車両位置管理システムやメールによる出動指令装置等が導入されたことにより、現場到着時間の短縮及び非常参集体制の迅速化が図られ、二市の境界付近で発生した災害においても、より迅速な対応が可能となりました。



## 2 消防団訓練場の開設

消防団訓練場は、地域を守る要となる消防団員の災害対応能力を高め、安全で確実な活動を培う場として、陶原公民館グラウンドに設けられ、平成24年11月1日から運用が開始されました。広さは約1,500㎡あり、水防工法などの訓練はもちろん、愛知県消防操法大会に出場する分団の訓練場所としても活用されます。



## 3 住宅用火災警報器の設置推進

平成25年6月1日時点で、瀬戸市の推計設置率は85.7%となっていますが、ここ数年に発生した火災による死者の多くが住宅用火災警報器未設置の世帯でした。

今後は、①住宅用火災警報器の未設置世帯に対する働きかけの強化、②住宅用火災警報器の奏功事例等の積極的な周知、③住宅用火災警報器の維持管理に関する広報の強化を継続して進めていきます。

### 【住宅用火災警報器の推計設置率】

項目	瀬戸市	愛知県	全国
平成24年6月1日	75.6%	81.4%	77.5%
平成25年6月1日	85.7%	81.6%	79.8%

※ 推計設置率とは、市町村が実施した住宅用火災警報器設置アンケートの結果を基に消防庁が独自に推計した値をいう。

#### 4 救急安心たまご事業

救急安心たまご事業とは、既往症や緊急時の連絡先などの情報を記入した用紙をたまご型のカプセルに入れ、冷蔵庫内のたまごケースに置いておくというもので、冷蔵庫のドアに貼られたシールを目印に救急隊が必要時に情報を確認し、迅速な処置・連絡等が行えるよう始めたものです。平成22年度から主に高齢者を対象に各連区の民生委員児童委員の皆様方のご協力をいただき、約5,500世帯に設置され、奏功例も年間数件報告されています。



(冷蔵庫目印シール)



たまご型カプセル

#### 5 わんわん消防隊の結成

わんわん消防隊とは、愛犬の首輪等に消防隊メダルをつけ、飼い主が消防隊員証を携行して散歩することで、防火・防災等の広報に協力いただくものです。

平成24年9月1日(土)から10月31日(水)の2か月間、市民の皆さんに入隊を募集したところ、飼い主141名、愛犬167頭の登録をいただき、平成24年11月18日(日)には瀬戸蔵北広場でわんわん消防隊結成式を開催しました。



消防隊員証



消防隊メダル (表)



消防隊メダル (裏)

# 目 次

## 【第1編】消防情勢（P1～10）

・5年間の市当初予算等と消防費	1
・平成25年度一般会計当初予算額	1
・平成25年度消防費の市民負担額	1
・消防本部・消防署・消防団組織図	2
・消防本部消防課の事務分掌	3
・消防署の事務分掌	4
・消防力の整備指針と現有消防力	5
・消防職員数	6
・消防団員数	7
・消防職員・団員数の推移	7
・消防職員・団員の平均年齢の推移	7
・消防職員派遣教養科目別実施状況	8
・消防職員研修実施状況	8
・消防職員・団員公務災害等発生状況	8
・消防本部車両運用状況	9
・消防団活動状況	10

## 【第2編】消防施設（P11～16）

・消防庁舎等設置状況	11
・消防車両等配備状況	12
・主な消防機器保有状況	14
・水防用資機材備蓄状況	15
・消防水利設置状況	16

## 【第3編】予防（P17～24）

・連区別防火対象物状況	17
・中高層建築物・地階用途別状況	18
・防火対象物等の推移	18
・防火管理者選任状況	19
・防火管理講習実施状況	19
・危険物施設等連区別設置状況	20
・危険物施設に関する申請等の件数	20
・危険物施設等の10年間の推移	21
・消防関係団体	
瀬戸市危険物安全協会	22
瀬戸市自衛消防連絡協議会	22
瀬戸市婦人消防隊連絡協議会	23
瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会	23
瀬戸市幼年消防クラブ	24
防災会	24

## 【第4編】火災統計（P25～34）

・平成24年中の火災発生状況と前年との比較	25
-----------------------	----



・ 出火原因別前年比較状況	25
・ 原因別・用途別火災状況	26
・ 初期消火実施状況調	26
・ 出火原因別火災発生件数	27
・ 署所別・連区別火災状況	28
・ 曜日別・月別火災状況	29
・ 天候別火災状況	29
・ 時間別火災状況	30
・ 10年間の火災状況	31
・ 10年間の火災件数と住宅火災件数及び損害額の推移	31
・ 10年間の住宅火災の状況	32
・ 10年間の住宅火災における出火箇所別件数	32
・ 10年間の住宅火災における時間別死傷者数	33
・ 10年間の住宅火災における年齢別死傷者数	33
・ 10年間の主な火災	34

### 【第5編】救急・救助統計（P 35～44）

・ 平成24年中の救急発生状況と前年との比較	35
・ 署所別救急出動件数	36
・ 連区別の老年人口率と救急搬送率	36
・ 曜日別・月別救急出動件数	37
・ 時間別救急出動件数	37
・ 年齢区分別搬送人員	38
・ 急病にかかる疾病分類別搬送人員調	39
・ 事故種別医療機関別搬送人員調	39
・ 救急隊員の行った応急処置状況	40
・ 応急手当普及啓発実施状況	40
・ 救命率の推移	41
・ 10年間の現場到着平均所要時間の推移	41
・ 10年間の救急出動件数	42
・ 急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移	42
・ 事故別救助出動状況	43
・ 連区別救助出動件数	43
・ 発生場所別救助人員	44
・ 10年間の救助出動件数	44

### 【第6編】通信・気象（P 45～48）

・ 消防指令センターの主な施設状況	45
・ 月別119番受信状況	45
・ 無線施設状況	46
・ 月別気象状況	48
・ 天候別日数調	48

### 【第7編】資料（P 49～53）

・ 消防本部の沿革	49
・ 消防相互応援協定	53



# 市 勢 概 要

瀬戸市は、中部経済圏の中心地である名古屋市の中心から北東約20 kmに位置し、東西12.8 km、南北13.6 kmのほぼ円形を示し、面積111.61 km<sup>2</sup>の行政区域を有しており、緑豊かなまちです。

瀬戸といえば、やきものまち。その代名詞となる「せともの」には、1,300年の歴史と伝統が息づいています。

本市の都市戦略の要となるのが「せと・まるっとミュージアム」であり、国際博覧会で芽吹いた市民の力が一層発揮できる舞台づくりに取り組み、人々が集い、交流し、学ぶことにより、躍動感あるまちづくりを市民の皆さんと一緒に進めています。

年別	項目	変遷	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯
昭和4年		市制施行	28.01	31,276	6,916
昭和26年		水野村合併	50.67	54,779	11,670
昭和30年		幡山村合併	71.36	64,681	13,588
昭和34年		品野町合併	110.34	79,449	16,636
平成25年		4月1日現在	111.61	132,130	53,220



※ 「おもてなしのこころ」にあふれた交流盛んなまちを象徴するシンボルマークとして平成13年度に公募・決定しました。『まるっと』とは「全部、まるごと」を意味するこの地方のことばです。